

青梅市青少年委員だより

令和5年9月28日 第67号

みらい



青梅市青少年委員協議会 会長 豊田 奨

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症も、今年5月より2類からインフルエンザ同等の5類となり、感染対策は必要ですが、やっと通常の日常を取り戻す事が出来ました。

しかし、この4年間で子ども達を取り巻く環境が大きく変わってしまいました。

特に驚いたのは、各地域の子ども会の休止です。今、青梅市で子ども会活動を行っている地域はほとんど無くなってしまいました。

子どもの数の減少や、地域での人間関係の希薄等、原因は様々あるのですが、少し寂しい気持ちもあります。

このような状況の中、私達青少年委員は各小学校・地域・青少年対策委員等と連携を取り、子ども達に体験活動・交流活動を通して自分たちが生まれ育った青梅に愛着を持って成長出来る様取り組んで行きたいと思えます。

そして、我々青少年委員の活動を多くの方々に知って頂き、今一層の御支援と御協力を頂けますよう努力していきますので宜しくお願い申し上げます。

～青少年委員はこんな活動をしています～

青梅市青少年委員は各小学校区に各1名選出された委員16名で活動をしています。

活動報告（令和五年度）

- ・ 集まれ！おうめっ子・青梅市小・中学生の主張大会審査員・成人を祝う会のお手伝い・管内研修 など
- ※その他、子ども会活動・PTA活動・各市民センターのお手伝いもしていますので、気軽に声をかけてください。

『 新任メンバー挨拶 』

★一小学区担当：大野裕昭さん

アウトドアの活動が好きで、よくバーベキューを行います。農業に従事しているため野菜メインです。そういったところが、青少年委員の活動に役立てば幸いです。よろしくお願いいたします。

★二小学区担当：寄口裕司さん

子育て、教育から手が離れて長い月日経っていたのですが、前担当の広瀬さんより青梅二中おやじの会をご縁にご紹介いただきました。家族構成は美人な嫁に三男一女の子宝に恵まれ、上は32歳下は22歳の娘。孫が6人います。孫と公園で遊ぶことを趣味としていたのですが、青少年委員という機会をいただいたので、地域の子どもたちにふれあい、未来ある子どもたちのためのお役に立てる様、微力ながらお手伝いさせていただけたらと思っております。わからないことだらけですがよろしくお願いいたします。

★三小学区担当：武藤一由さん

青少年のみなさんの楽しいや感動、そこにある学びを事業を通して一緒に感じて行けたらと思っております。宜しくお願い致します。

★成木小学区担当：浅井健さん

私は成木で生まれ成木で育ちました。小さい頃から成木の川や山で遊んできました。その経験を生かして子供達とふれあって行きたいと思えます。

★六小学区担当：柳澤裕之さん

4期8年の任期を務め上げて一旦は卒業したものの、子ども達と触れ合う楽しさが忘れられず、この度4年振りに帰ってまいりました（笑）またおうめっ子達と、たくさん遊ばせていただきます！どうぞ宜しくお願い致します！

青梅市青少年委員紹介

氏名	担当小学校・市民センター	氏名	担当小学校・市民センター
大野 裕 昭	一小・青梅市民センター	岡 部 真 紀	河辺小・河辺市民センター
寄 口 裕 司	二小・長淵市民センター	阿 多 洋 和	新町小・新町市民センター
武 藤 一 由	三小・大門市民センター	唐 津 直 樹	霞台小・大門・新町市民センター
豊 田 奨	四小・東青梅市民センター	石 川 富 士 男	友田小・長淵市民センター
梅 本 亘	五小・梅郷市民センター	中 山 誠 一	今井小・今井市民センター
柳 澤 裕 之	六小・沢井市民センター	古 賀 勝	若草小・新町市民センター
小野寺 洋智	七小・小曾木市民センター	山 口 佳 子	藤橋小・今井市民センター
浅 井 健	成木小・成木市民センター	樋 口 篤 史	吹上小・東青梅市民センター

令和五年度の活動事例の紹介です。
「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております。

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
青梅市教育委員会社会教育課 「青少年委員担当」まで

編集 青梅市青少年委員協議会
発行 青梅市教育委員会社会教育課
青梅市東青梅1-11-1
Tel 0428-22-1111



青梅市青少年委員
のホームページを作成
いたしました。

r100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

活動の紹介

『 ます釣りにチャレンジ 』

2023年5月21日成木川で「ます釣りにチャレンジ」を行いました。
当日の天気は、うす曇りの中で始まりましたが、昼前には太陽がのぞくほどになりました。
参加者は、小学4年生から中学3年生までの36名が来てくれました。

今年は、コロナが第2類から第5類へ変更となって初めての開催となりました。
会場は、成木市民センター第一研修室をお借りしました。
子ども達は、4つの班に分かれて集合をしましたが、初めまして同士のためか最初は緊張した面持ちでしたが、アイスブレイクやはじめの会と進むにつれ、緊張が取れて笑顔になってきました。

講師の檜島さんから、プロジェクターを使ってイベントの目的でもある「ます釣り」のお話や、自然にまつわるお話を子ども達は真剣に聞いていました。次に、ます釣りをするための仕掛け作りをしました。
子ども達は、真剣に仕掛けの作り方を聞き、自分たちで四苦八苦しながらもしっかりと作れたようでした。
仕掛けが出来た子は、まだ出来ていない子の仕掛け作りを手伝っていました。
成木市民センターの玄関前で、参加者全員で集合写真を撮りました。



それではいざます釣りにチャレンジです！！

成木川の河原に降りて、用意した釣り竿を片手にます釣りを順番に楽しみました。
なぜかますたちが餌に食いつかずなかなか釣れなくて、「これが自然」と子ども達は、生きている魚を釣る難しさを体験出来たのではないのでしょうか。

釣ったり網を使い苦労して獲ったますをスタッフの方に捌き方をレクチャーしてもらいながら自分たちで捌いていました！

そして、捌いたますを竹串に挿して焼きました（ますの焼きについてはスタッフで焼かせていただきました）。
昼食は、各自持ってきた食べ物と一緒に、焼いたますとスタッフが作った「豚汁」を美味しく食べていました。

午後からは、みんなでますのつかみ取りをしました。
なかなか捕まらないますを、みんなで追い込みながら捕まえたりしていました。
ますのつかみ取りをしたあと、ます釣りをした場所から少し上流側に移動して、水生生物採取を行いました。
檜島さんの注意をよく聞いて、自分たちで採取に取り組んでいました。
採取した水生生物を観察して、どんな生き物が生息しているかを調べたりしました。
最後に班ごとに、今日の感想を述べていただきました。
檜島さんからの総評をいただいてイベントは終了しました（檜島さんありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願ひします）。
イベント終了後、第一研修室前で釣ったますを貰って子ども達は元気よく帰っていきました。

昨年より募集人数を倍の40名に増やして行いました。
スタッフも楽しみながら、子どもたちの笑顔を糧に頑張りました。
子ども達が、喜んでイベントに参加して戴けたのであればスタッフ一同嬉しい限りです。
楽しい「ます釣りにチャレンジ」の様子はホームページでも見られます。

『 東青梅ジュニアリーダー講習会 』

今年の講習会は地区内小学生24名とその保護者とで例年より若干少ない参加でしたが、東青梅市民センターで行いました。
午前の部は昨年に続き、スポーツゴミ拾いを行いました。ゴミの種類、重さ、指定のコース内を歩いた歩数などで点数を競う競技です。5チームに分かれ、みんな夢中で空き缶や、ビン、ペットボトル、タバコの吸殻など指定のゴミを夢中で拾いました。おかげでこんなに地区内にゴミが落ちているのかと思うほど、たくさん拾うことができました。
昼食後、午後の部はセンターで借りられる遊具を使い、スポーツオセロ、爆弾処理、ボール送りの3競技です。オセロは時間内で多くめくった方の勝ち。爆弾処理とボール送りは早く終わらせた方の勝ちです。こちらも一生懸命行って総あたり戦で楽しく競いました。
次回の講習会も参加お待ちしております。

